

第13回子ども・子育て会議 議事録

1. 開会

■事務局

※出席委員人数確認と会議成立を報告

(委員22名中20名出席、2名(三曳委員、橋本委員)欠席)

※配付資料の確認

■会長

※挨拶

※「子ども・子育て会議記録」により、過去開催(第1回～第12回)の会議内容について概略説明

2. 委員紹介

■事務局

※委員紹介

3. 議事

(1) 市立みゆき保育園の移管について

■事務局

※資料P1～P7について説明

■委員

※質疑・意見等なし

(2) 九島幼稚園の閉園について

■事務局

※資料P8～P10について説明

■委員

※質疑・意見等なし

(3) 鶴島放課後児童クラブについて

■事務局

※資料P11～P12について説明

■会長

児童クラブについて、第9回の子ども・子育て会議において、放課後児童健全育成事業の平成21年度から31年度の5年間ニーズ調査を行ったところ、これまでの実績を超える数字が出てきたため、当該事業を希望する児童をどのように受入するかを検討し、その時に平成28年度以降は、番城児童クラブのクラスを増やすということで対応したいと結論を出したが、それでも満たせないと思い、当時出席していた教育委員会関係者に、児童が減少しているのに、小学校の空き教室の現状はどうか質問をしたが、小学校の教室を使用した実施は困難であるとの回答であった。しかしながら、こうして鶴島小学校に新たに放課後児童クラブを創設するということは、学校側も無理をされているのではないかと思うが、大変嬉しく思っている。今後ともこのような方向で前向きに検討をお願いしたい。放課後事業クラブを実施している施設は、先ほど説明があったとおりだが、この他に、本日出席している毛利美紀子先生がされている三間の放課後子ども教室があるが、教育委員会の管轄であると思う。三間以外に、住吉、天神、和霊、宇和津、畑地、二名、成妙にも子ども教室があると記憶しているが、この子ども教室は、放課後児童クラブと少し性質が違うので、今回は説明を省いている。

■委員

※質疑・意見等なし

(4) その他

■委員等

※質疑・意見等なし

■事務局

※次回会議予定ならびに委員任期について周知

(今年度開催予定は無く、現委員の任期は3月末をもって終了)

4. 閉会

■副会長

会長が説明されたとおり、本会は平成25年から始まって、足掛け5年経過しており、過去の資料を見ながら、あっという間だったなと思う。関係していただいて、ご協力して下さった皆様に心からお礼申し上げます。

この会議の趣旨は、宇和島における子どもたちの教育・保育の量の確保の議論がなされ、その後、もうひとつのテーマである各保育所、幼稚園等の質の向上をどうするか、そちらの方が重要であると思う。

今日の議事のなかで、みゆき保育園が民間に移管されることによって、サービスが良くなり質が向上するという事で、子どもたちの環境は変わるかもしれないが、長期的に見れば、質の高い安定した保育が提供されるということで、そういう観点で協議ができたことは大変良かったと

思う。

私は私立幼稚園代表として来ているが、全国的に地域で子育てを考えるとこの協議の中で、私立の幼稚園の園児の数も全体的に減少してきているということと、地方の特徴というか、共働きの世帯が増加していて、どうしても子育てに従事できない方々は保育所に預けざるを得ない。減少しているけども、減少している中であっても、保育の質を落とさないで、子どもの数を確保するためにも、パートではなく専門的な知識を持った正規の先生を出来るだけ雇用したいということで、平成27年度からスタートした子ども・子育て支援新制度に、今年度は伊吹幼稚園、鶴城幼稚園、八幡幼稚園が移行し、そして平成29年度からは、愛和幼稚園、村井幼稚園も新制度に移行する計画となっており、運営の面からみても安定した保育教育ができると思っている。移行にあたり、色々な方々の助言や協力をいただき、これから質の高い保育の実現に向けて進めていきたいと思う。

これで今年度の会議は終わりではあるが、子どもたちの将来ことをもっと考え、この幼児教育保育から始まり、小学校、中学校、高校へ未来に向けて繋げるために、皆様の力を出し合って、子どもたちのため、宇和島のために、これからも御協力いただきたい。本当にありがとうございました。